

# 宇治市要保護児童対策地域協議会 平成 25 年度第 1 回代表者会議 議事要旨

< 日 時 > 平成 25 年 8 月 21 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00

< 場 所 > 宇治市議会棟 3 階 第 3 委員会室

< 出席者 > ( 委員 : 21 人出席 / 26 人中 )

杉本会長、吉田委員、奥西委員、作田委員、小山委員、門脇委員、池本委員、  
久世谷委員、弓指委員、鬼界委員、青山委員、中田委員、西谷委員、大西委員、迫委員、  
上野委員、大槻委員、相馬委員、山口委員、小田委員、佐藤委員  
( 事務局 )

健康福祉部 遠坂健康福祉部子育て支援室長兼こども福祉課長、  
山本こども福祉課主幹、古川こども福祉課主幹、

( 傍聴者 ) 1 人

## < 会議内容 >

### 1 開会

- ・ 会長より挨拶
- ・ 資料 4「参考資料」のうち、「宇治市要保護児童対策地域協議会の会議の公開に関する要項」に基づいて、公開で会議を進めていくことを確認。
- ・ 事務局より、新任委員の紹介、欠席委員の報告および配布資料の確認。

### 2 議題

#### 1 ) 京都府における児童虐待相談等の状況と取組について

- ・ 京都府宇治児童相談所より、資料 1「京都府報告資料」に基づき、説明が行われた。
- ・ 京都府山城北保健所より、資料 1「京都府報告資料」に基づき、説明が行われた。

#### 2 ) 宇治市における児童虐待相談等の状況と取組について

- ・ 事務局より、資料 2「宇治市報告資料」に基づき、説明が行われた。

### 【質疑応答の概要】

児童虐待について、宇治市の施策の中で今後どういった支援ができるか。

家庭への訪問も含め、子育て支援施策全般が児童虐待の未然防止につながっていると  
考えている。

どういった支援が足りなかったために児童虐待が起きたと思うか。

児童虐待は家庭環境等、様々な要因が複雑に絡み合って起こるため、原因の特定は困難であるが、未然防止につながる子育て支援事業の拡充は今後も検討したい。

これまでの取り組みが、どのくらい児童虐待の未然防止につながったのか等、成功事例や実績等をもっと表に出してほしい。

平成24年度の児童虐待受理件数118件のうち24件は、虐待が再発する恐れがないと判断し、終結しているが、数字のみで実績や成果を表すことは困難であり、今後の検討課題である。

### 3) 意見交換「事例から考える支援のあり方について」

- ・事務局より、資料3「意見交換資料」に基づき、具体的な仮想の事例の中での支援のあり方について意見交換を行った。

#### 【意見交換の概要】

明らかに児童に傷痕がある場合や児童本人が叩かれたと話している場合には、市としては、できる限り多くの関係機関から情報収集を行っている。

保育所では、保育士が発見した時にきちんと親に聞くこと、また民生児童委員の家庭への訪問や声かけにも大きな効果がある。また、保育士と保護者、児童との信頼関係が必要である。親の気持ちも聞きながら上手に話をすることは大切である。

主たる虐待者として実母が最も多いのは、母親にとって子育ての時間数が多いという側面が考えられる。

保護者に対して、地域の民生児童委員を紹介してもらえれば、より支援につなぐことができると思う。

対応方針については、関係機関が会議等により、話し合っ決めていく。

子育て家庭が周囲と交流・相談できる機会を作っていくことが児童虐待の未然防止になると思う。

### 4) その他報告事項

- ・事務局より、各関係団体の活動について紹介を行った。

## 3 閉会